

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名 No. 540601 生ごみ処理機購入補助事業		主管課名 環境課								
	この事務事業の位置		課長名 小野田 幸男								
	政策	人と自然が共生する心地よい環境									
	施策	環境と人にやさしいまち									
	基本事業	「3R」の推進									
	(1)事業の概要										
	・ごみ減量化対策の一環として、市内の家庭より排出される生ごみを自ら処理することを推進し、あわせて、衛生組合東郷美化セブンを図るため、生ごみ処理機（機械式）生ごみ堆肥化容器を購入する者に補助を行う。 (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)										
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) 広報等で補助制度を周知し、生ごみ処理機を購入した者に補助金を交付した。補助金額は機械式：処理機の購入価格×1/2（上限3万円）、堆肥化容器：処理機の購入価格×1/3（屋外据置き式：上限2,000円、密閉式：上限600円） 対象者は市内に住所を有する者 基数は機械式：1世帯1基、堆肥化容器：1世帯各2基										
	26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容								
	(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)										
市内の世帯											
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)											
生ごみを堆肥化して、活用する											
(4)結果(上位基本事業の意図)											
リサイクルによる資源の有効利用、再資源化											
(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)											
市内の世帯数											
(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)											
累計生ごみ処理機を購入した世帯数											
(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)											
市民1人1日当たり排出量											
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		件	59	31	49	49	49	49			
(6)の対象指標		世帯	22,074	22,299	22,550	22,800	23,050	23,300			
(7)の成果指標		世帯	1,689	1,720	1,769	1,818	1,867	1,916			
(8)の結果の成果指標		g	917	916.9	858	844	830	827			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	04	項	02	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	484	408	902	902	902	902			
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	484	408	902	902	902	902		
人件費B		千円	189	186	186	186	186	186			
正職員従事時間×人数		時間×人	50×1	50×1	50×1	50×1	50×1	50×1			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	673	594	1,088	1,088	1,088	1,088			
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/世帯	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 540601 生ごみ処理機購入補助事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成12年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？  ・資源ごみを回収し、再利用することはとても大切なことであるが、回収した資源の処理費用の財政負担が年々増加している。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？  ごみの減量化対策の一環として、市内の各家庭から排出される生ごみを自ら処理することを目的とした。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し資源化が定着することに伴い、生ごみの減量化している 変化している 内容 変化、堆肥化への関心が高まっている。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市生ごみ処理機・堆肥化容器購入補助金交付要綱 家庭から排出する生ごみの自家処理を推進し、尾三衛生組合東郷美化センターから排出される灰等を減少させ、処分場の延命を図る。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容	ごみの減量化が進まなくなるため、廃止することはできない。
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	生ごみ処理機の機能、効果のPR、補助制度の周知徹底
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	・ごみの減量化及び資源の有効利用を推進するとともに、市民の資源ごみの有効利用に対する認識を深め、ごみの分別収集並びにリサイクル運動(資源再利用)の普及を図る。					